

第10号

# 大志連区地域づくり協議会だより

発行日:平成29年10月1日 発行者:大志連区地域づくり協議会(会長:木村富雄 090-1832-9029)  
<http://blog.goo.ne.jp/a1384chidukyo> 一宮市のHPにも掲載中  
地域づくり協議会専用事務室:大志公民館(大江3-9-14)2F 料理実習室内 FAX:0586-24-5206  
常駐予定(木村):毎週月曜日午後1時半~5時半、毎週木曜日午後5~8時 [138daishi.chiiki@gmail.com](mailto:138daishi.chiiki@gmail.com)

## 長寿を願って 9月3日「大志連区敬老会」開催

敬老会が一宮市・社会福祉協議会・社会福祉協議会大志支会の主催で、9月3日(日)に、大志小学校において開催されました。第一部の式典では、佐藤支会長より、「心よりご長寿のお祝い申し上げます。大志連区は、皆さま方が支えておられるのだなあと思っています。いろいろな場面で声をかけてくださり、優しさにもたくさん触れさせていただき、改めて皆さま方の存在の大きさを感じているところです。どうぞこの先もお元気で私たちを導いていただきますようお願いいたします。」と挨拶がありました。第二部慰安会では、あかつき富美京会の舞踊に、楽しいひとときを過ごしました。今後とも、健康に留意いただき長生きされますよう、心からお祈り申し上げます。



あいさつを行う佐藤支会長



あかつき富美京会による舞踊

## 11月26日 防災訓練 成功させよう! 「防災ミーティング」

地震が起きたら、身を守られるかなあ  
火災が起きたら、避難できるかなあ  
近所に助けてくださる人はいるかなあ  
誰が避難所を運営するの?

「防災ミーティング」では、『ご近所力』が大事という観点から、大志連区を4つに分けて、それぞれの地域・町内の課題を洗い出します。話し合いで解決できないものは、次への課題とします。9/13現在、245名の参加申込みがありました。参加追加は、佐藤連区長まで。

### <今月の予告> 「大志連区運動会」

と き:平成29年10月1日(日)

[予備日:10月8日(日)]

と ころ:一宮市立大志小学校運動場

集 合: 8:30

開会式: 9:00

閉会式: 15:00

終 了: 15:30



# 児童館活動で大活躍 老人クラブ・児童育成協議会の皆さん

8/19 (土) ワイワイフェスティバル

8/23 (水) ニュースポーツ



児童育成協議会と地域活動クラブ

大活躍!

老人クラブの皆さん

## 第4回「親子で大志の歴史と文化を知ろう」

〈常念寺を訪ねて〉

大志連区の歴史と文化を知る会  
大志子ども会

8月23日(水)、『親子で大志の歴史と文化を知ろう』が開催されました。4回目の今回は、〈常念寺を訪ねて〉とし、37名の皆さんが参加しました。常念寺では、本堂で方丈(住職)さんより説法をしていただきました。「使命」「運命」「天命」とは、命をどう使うかということであり、人は『縁(環境)』次第で伸びていくと、ユーモアを交えての法話がありました。その後、鐘の音を聴いての座禅体験では、鐘の音を追っていくことで心が穏やかになり、命の尊さや繋がりについて気付かされました。子どもたちは次のような感想を持ちました。「木魚の音の響きとお経が不思議と混じり合い、とてもびっくりしました」「座禅体験は、鐘の音を聞きながら、じっとしていると、心が落ち着きました。如意輪観音菩薩を見ることが出来て、すごく嬉しい気持ちになりました」「本堂はとても広くてきらびやかでびっくりしました。座禅をしたりお経を聞いたりいろいろ体験ができて楽しかったです。初めて飲んだお抹茶がおいしかったです」常念寺の関係の皆さん、ありがとうございました。



### 歴史の散歩道⑤ 『常念寺』

時代は南北朝時代(朝廷が北朝と南朝に分かれ争乱を繰り返した。1336年～)、北朝初代天皇の光厳天皇の菩提を弔うためにお寺を建立したい、と足利尊氏の甥、召運上人は真清田神社に100日間お参りしたところ「これより北東の方角に柳樹あり、彼地清浄(しょうじょう)なれば連夜三星相舎る(やどる)汝ぞ訪ひて願望を果せ」という夢のお告げがあった。召運上人は柳の木に三つ星が流れる場所を探し歩き、現在の一宮市寺島(旧小島字寺屋敷)の地を探し当てた。そこに弥陀、観音、勢至の三尊(三つ星)が光とともに現れたので、これは私の探している地に違いないと三尊に礼拝し、謹んで三尊を安置し、一字を建立した。これが常念寺の始まりである。(この柳の木及び三つ星の縁より、山号を柳星山とした)。明徳元年(1390年)、光厳法皇27回御聖忌追福のため、常念寺創建入仏供養。應永2年(1395年)火事により焼失、ほどなく再建。天正年中(1573～1593年)、兵火により焼失、一宮城主関十郎右衛門がこれを嘆き、城の鬼門鎮護のために現在の地(一宮市大江(旧常念町))に再建立し菩提所とした。

〈常念寺資料より〉